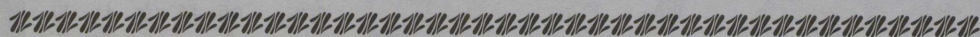


全 仏



No. 369

1991. 6



韓 国 の 仏 誕 節

(関連記事 6・7面)



財団
法人

全日本仏教会

JAPAN BUDDHIST FEDERATION

理事会開く

本会の理事会が、五月三十日午後二時から東京グランドホテルで開催された。

白川理事長の導師で三帰依文を唱和、挨拶につづいて、議長に白川理事長、議事録署名人に伊藤通明、樟原宏朗の両師を選んで議事に入った。

議案第一号「平成二年度事業報告について

承認を求める件」

白川理事長より上程。川島総務部長が詳細を説明、原案通り承認された。

議案第二号「平成二年度歳入歳出決算について承認を求める件」

白川理事長より上程。剛山財務部長が説明。つづいて師田賢説監事が監査報告を行った後、原案通り承認された。

議案第三号「事務総局人事の件」

白川理事長より上程。川島総務部長から、臨済宗妙心寺派の上原広明師を、五月末日で退任する神代紹文財務部次長の後任に当てたい旨の説明が行われ、原案通り承認された。

報告事項

①湾岸戦争難民・被災民救援募金について石上事務総長が、去る二月二十日に開催された常務理事会の決定に基づき、現在行われている救援募金の現況、及び本会が実施した加盟各団体の救援活動に関するアンケートの内容を報告、一層の協力をお願いした。

②ルンビニー委員会報告

川井委員長が、ネパールの現況を報告し、中断しているマヤ堂の復興事業を再開するため、六月初旬にも現地調査を行う予定である

ことを説明した。

③事務総局各部報告

各部長より報告された。

ルンビニー委員会

去る五月二十日午後一時から、浄土宗宗務庁の会議室で、「マヤ堂修復事業に関する件」を議題に、本年度第一回のルンビニー委員会が開催された。

最初に川井委員長からネパールの現況についての報告が、つづいて事務局から工事中断より今日に至るまでの経過が説明された。特にネパール文部省の次官タパ氏と同省考古局長アマティア氏が来日した際の折衝では、両氏とも本会が今秋、工事を再開することに賛意を示しており、今後は本会、LDT、ネパール文部省考古局の三者で話し合いを進めるべきだという申し入れがあったことが報告された。また、六月に事務局が現地調査を行うことが了承された。

菅野主事退職

五月末日をもちまして、十九年間に亘って事務総局の経理事務を担当されてきた菅野孝江さん（財務部主事）が、ご家庭の事情により退職されました。長い間、本当にご苦労さまでした。



東京グランドホテルで開かれた理事会

平成二年度 財団法人 全日本仏教会 歳入歳出決算

歳 入	予 算 額	金 101,618,000円
	決 算 額	金 107,370,032円
歳 出	予 算 額	金 101,618,000円
	決 算 額	金 96,553,366円
歳入歳出決算剰余金		金 10,816,666円

歳入の部

科	目	予 算 額	収入済額	対 予 算	付 記
款	項			収入超過額 収入未済額	
1. 負担金		89,618,000	87,072,000		
	1. 各宗派負担金	79,758,000	78,072,000		1,686,000
	2. 各団体負担金	9,860,000	9,000,000		860,000
2. 寄附金		1,500,000	700,000		800,000
3. 未納徴収金		1,500,000	917,000		583,000
4. 基金果実		700,000	934,900	234,900	
5. 雑収入		3,300,000	3,450,652	150,652	
6. 繰越金		5,000,000	14,295,480	9,295,480	
歳 入	計	101,618,000	107,370,032	5,752,032	

歳出の部

科	目	予 算 額	支出済額	○増 △減 流 用 額	予 算 残 額	付 記
1. 事務総局費		67,060,000	66,345,548		714,452	
	1. 人件費	49,110,000	48,924,231		185,769	
	1. 事務総長手当	1,200,000	1,200,000		0	
	2. 職員俸給	24,840,000	24,766,501		73,499	
	3. 諸給	19,020,000	18,931,663		88,337	
	4. 厚生費	2,500,000	2,476,067		23,933	
	5. 退職積立金	1,550,000	1,550,000		0	
	2. 事務費	11,350,000	10,506,864	△ 343,110	500,026	
	1. 借館借室費	4,300,000	4,300,000		0	
	2. 通信費	2,000,000	1,778,979		221,021	
	3. 消耗品費	400,000	344,680		55,320	
	4. 光熱費	2,000,000	1,592,454	△ 343,110	64,436	第3項へ流用
	5. 備品費	1,300,000	1,202,598		97,402	
	6. 印刷費	1,000,000	994,214		5,786	
	7. 諸雑費	350,000	293,939		56,061	
	3. 旅費	3,000,000	3,343,110	○ 343,110	0	第2項第4目より流用
	4. 関西事務局費	2,000,000	2,000,000		0	
	5. 渉外費	1,600,000	1,571,343		28,657	
2. 総務部費		7,300,000	7,160,536		139,464	
	1. 諸会議費	2,800,000	2,678,998		121,002	
	1. 理事会費	1,200,000	1,174,061		25,939	
	2. 評議員会費	400,000	400,000		0	
	3. 諸会議費	1,200,000	1,104,937		95,063	
	2. 共通事項処弁費	4,500,000	4,481,538		18,462	
3. 財務部費		2,400,000	2,162,902		237,098	
	1. 調査研究費	2,400,000	2,162,902		237,098	
	1. 調査研究費	700,000	603,276		96,724	
	2. 税務対策費	1,700,000	1,559,626		140,374	
4. 同和推進部費		5,300,000	5,600,006	○ 300,006	0	
	1. 同和推進費	4,000,000	4,456,244	○ 456,244	0	第2項より流用・第9款より充当
	2. 同和委員会費	1,300,000	1,143,762	△ 156,238	0	第1項に流用
5. 社会部費		10,500,000	10,374,448		125,552	
	1. 組織強化費	4,500,000	4,403,434		196,566	
	1. 組織強化費	1,000,000	903,917		96,083	
	2. 国内仏教徒会議費	3,500,000	3,499,517		483	
	2. 機関紙発行費	5,000,000	4,997,320		2,680	
	3. 時局対策費	1,000,000	973,694		26,306	
6. 国際文化部費		4,100,000	4,082,674		17,326	
	1. 国際運動費	3,600,000	3,582,714		17,286	
	1. WFB関係費	2,000,000	1,995,264		4,736	
	2. 国際仏教交流費	1,000,000	991,728		8,272	
	3. 国際渉外費	600,000	595,722		4,278	
	2. 教化諸費	500,000	499,960		40	
7. 雑費		458,000	269,702		188,298	
8. 基本金繰入金		500,000	500,000		0	
9. 予備費		4,000,000	57,550	△ 300,006	3,642,444	第4款第1項に充当
支 出	計	101,618,000	96,553,366		5,064,634	

湾岸戦争に関する 加盟団体の活動アンケート

— 中間発表 —

一九九〇年八月二日、イラク軍のクウェート侵攻が始まった湾岸戦争によって生じた、多くの難民・被災民の救援のため、国連をはじめとして、各種の民間団体、宗教団体など、世界中の人々が援助の手を差し伸べている。

本会においても、去る二月六日の理事・評議員会で採択された「平和アピール」に基づき、救援活動の一環として、全国的な募金活動を展開しているが、去る四月十七日、本会加盟の百二団体に對して「湾岸戦争に関する加盟団体の活動アンケート」を行った。

このアンケートは、これまで、湾岸戦争難民・被災民救援活動が各加盟団体において、どのように受け止められ、行われたのか。また、活動を行う上での問題はどこにあるのか等について明らかにし、今後の参考とすべく実施されたものである。集計の中間発表は以下の通りである。

※アンケート配布先

本会加盟宗派、都道府県仏教会、各種団体

百二団体

※アンケート回答団体

三十三団体より回答（五月三十日現在）

I、湾岸戦争に関する声明文（アピール文）に関して

貴団体は、湾岸戦争に関する声明文（アピール文）を採択しましたか？

何らかの形でアピールを出したところ

一六団体 五〇％

II、湾岸戦争に関する募金について

貴団体は、湾岸戦争に関する募金活動を行っていますか？

募金活動を行ったところ

二三団体 七二％

（別表参照）

III、平和祈願法要について

貴団体は、平和祈願等の法要を営みませんか？

平和祈願法要を行ったところ

一五団体 四七％

IV、難民・被災民現地調査団に関して

①仏教界が難民・被災民現地調査団を構成し、現地へ送ることが必要と考えますか？

必要である 一九団体 五五％

必要でない 一〇団体 二九％

②もし本会が湾岸戦争の難民・被災民現地調査団を構成した場合、貴団体は、その調査団に参加しますか？

前向きに検討する

一八団体 五八％

参加しない 一二団体 三二％

V、貴団体における他の難民・被災民救援活動に関して

貴団体において独自に他の地域への難民・被災民救援活動を行っていますか？

難民・被災民救援活動をしている団体

一四団体 四四％

仏教界の湾岸戦争に関する 救援金一覧

（全日本仏教会以外への寄託金）

（5月30日現在）

宗派団体名	日付	金額(円)	寄託先
曹洞宗	平成3年4月12日	40,000,000	国連高等弁務官事務所
浄土真宗本願寺派	平成3年2月12日	10,000,000	赤十字国際委員会
	平成3年5月10日	10,000,000	赤十字国際委員会
浄土宗	平成3年3月29日	5,000,000	国連高等弁務官事務所
	平成3年4月24日	15,000,000	国連高等弁務官事務所
日蓮宗	平成3年3月4日	10,000,000	国連高等弁務官事務所
高野山真言宗	平成3年2月13日	2,000,000	日本赤十字社
天台宗	平成3年2月	30,000,000	国連高等弁務官事務所
真言宗豊山派	平成3年4月10日	10,000,000	日本赤十字社
孝道教団	平成3年2月19日	5,000,000	ユニセフ
	平成3年3月7日	1,030,611	ユニセフ
浄土宗西山禅林寺派		10,000,000	（検討中）
香川県仏教会	平成3年3月4日	2,000,000	ユニセフ（毎日新聞大阪本社事業部）
		1,000,000	（検討中）
真理舎		50,000	国連高等弁務官事務所
日本仏教保育協会	平成3年3月11日	5,000,000	湾岸戦争難民救援自民党事務局

救援金集まる！

中間報告

本会では「湾岸戦争に対する全日本仏教会平和アピール」に基づき、湾岸戦争難民・被災民救援活動の一環として、加盟団体及び一般の仏教徒に対し、全国的な募金活動へのご協力をお願いしましたところ、別表の通りの救援金をお送りいただきました。

ご協力下さいました皆様方に、心より御礼申し上げます。

なお、今後お送りいただきました救援金につきましては、引き続き掲載いたす予定です。



そば降る雨の中行われた
全国一斉托鉢

湾岸戦争難民・被災民救援金一覧

(5月30日現在)

団 体 名	救援金(円)	団 体 名	救援金(円)
曹 洞 宗	1,000,000	時 宗	20,000
浄土真宗本願寺派	1,000,000	融 通 念 佛 宗	10,000
真 宗 大 谷 派	1,000,000	本 門 佛 立 宗	3,000,000
浄 土 宗	1,000,000	群馬県仏教連合会	10,000
日 蓮 宗	1,000,000	栃 木 県 仏 教 会	30,000
高 野 山 真 言 宗	1,000,000	東京都仏教連合会	13,300,165
臨 済 宗 妙 心 寺 派	1,000,000	神 奈 川 県 仏 教 会	100,000
天 台 宗	1,000,000	長 野 県 仏 教 会	50,000
真 言 宗 智 山 派	5,000,000	和 歌 山 県 仏 教 会	50,000
真 言 宗 豊 山 派	1,000,000	香 川 県 仏 教 会	22,000
念 法 真 教	1,000,000	国際仏教興隆協会	20,000
真言宗善通寺派	100,000	真 理 舎	30,000
真言宗御室派	10,000	一 般 信 徒	251,065
真言宗泉涌寺派	100,000	その他 仏青・市仏等	2,234,075
真言宗国分寺派	30,000	合 計	34,595,370

韓国の仏誕節に詣でて

全日本仏教会
理事長

白川良純

お隣りの韓国では、釈尊降誕会（仏誕節）が国民の祝日となり、毎年旧暦で祝う。本年も五月十八日、ソウル市内を流れる漢江沿いの汝矣島大広場で、韓国仏教宗団協議会主催の「仏紀二五三五年仏誕節」が、数万人の信者を集めて盛大に営まれた。

例年通り、招待を受け、日本の仏教界を代表してこの法要に参列した白川理事長に、印象を記していただいた。

※ ※ ※

五月十八日は、旧暦の四月五日に当り、韓国では、仏誕節として、記念の大法会が行われ、提燈行事も催されるので、日本からも是非参加して欲しいと、ご案内が届けられた。

昨春秋、世界佛教徒大会がソウルで開催され、たいへんご厄介になったので、その御礼もかねて、国際文化部の久米原部長と木内次長と理事長の私が、大法会に参列させて頂くことになった。

十六日、日本航空九五三便で、午後二時、

金浦空港に着くと、韓日仏教文化交流協議会理事の郭溱鎔さんと韓国仏教宗団協議会事務局長の朴亨鎮さんが出迎えに來られていて、新羅ホテルに案内して頂いた。

十七日午前十一時、韓国仏教宗団協議会の事務局に表敬訪問をさせて頂いた。事務総長の李泓波師初め各宗団の代表者の方々にお目にかかることができた。曹溪宗の總務院長の徐義玄師もお忙しい中、私達が來たということとを聞かれて、わざわざごあいさつに來られた。

韓国仏教宗団協議会は、曹溪宗、太古宗、天台宗、真覺宗、觀音宗を初め、二十六の宗団の連合体で、曹溪宗の側にあるビルの中に事務局を構えており、「百家の異諍を和し、一味の仏教に帰せしめる」ことを標榜した元暁の精神をうけ継いで、多くの教団の融和をはかり、韓国仏教の発展に尽していることをひしひしと感ぜしめるものがあつた。

その日は、仏誕節の前日であり、各宗団の代表者が集まって打合せをし、盧泰愚大統領

にあいさつをして來られたとのことだった。すでにお名前を上げた方の外に、天台宗の田無德師、真覺宗の金永浩師、三論宗の金泰鉉師や、実業家で外護者の崔正洛氏が歓談に加わって下さった。崔氏はわれわれのソウル滞在中、自動車をさしむけて便宜を計って下さった。感謝に堪えない次第である。

反政府デモの話も出て「日本の学生たちはどうか」と聞かれ、かつての学生運動の激しさを思い起させられたことである。家庭のしつけなどは、韓国の方が厳しいのではないかと思われるが、教育の問題は、どこの国でも頭の痛いことである。

お互に贈答の品々を取り交わしたが、立派なお品を頂き恐縮した。丁度、お昼時になったので、近くのレストランで韓国料理をご馳走になった。

十八日は、いよいよ仏誕節の日である。

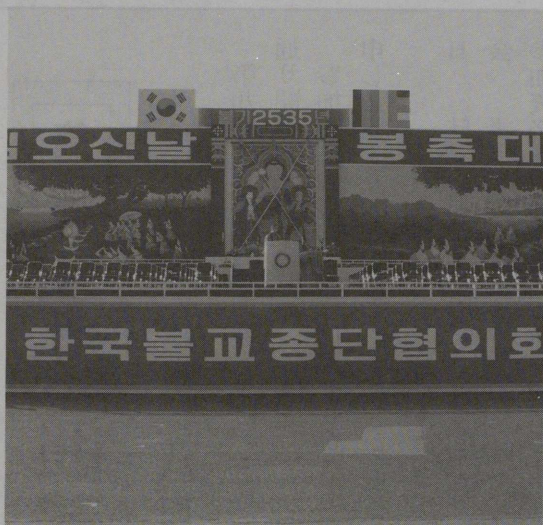
プログラムには、「仏紀二五三五年祈願大法会、日時・五月十八日午後六時、場所・汝矣島特設法会場」と掲示され、内容は、「献花、礼仏、祝願文、般若心経、奉祝辞、法語、普賢行願、祈願文、四弘誓願」等と記されていたが、例のデモのピークにぶつかるとはなにかという心配から、時間を短縮して、トラブルを避けたいという当事者の配慮により、用意して行つた祝辞を読む時間がなか

ったのは残念であったが、李泓波事務総長に文面をお渡しして、意のあるところをお伝えした次第である。

会場は、汝矣島とあるように、ソウルを縦断している漢江の中にある島であるが、その中に国会議事堂やテレビ局もあって、かなりのスペースをもった枢要の地でもあることが分かる。

広場は、八十万人が集まれるほどで、広い大きな演壇には、釈尊の御絵像が掲げられ、壇上には百人ほどの各団体代表の僧俗が居並んだ。

演壇と聴衆の間も五十メートル程あり、最



仏誕節祭壇遠景

後にそこで花火が打ち上げられ、それから提燈行列に移ったのである。

今年はデモ騒ぎのため、例年より参加者が少ないといわれたが、それでも、日本では一か所でこれ程大きな規模の花まつりは行われたことはないであろう。韓国では仏誕節の日は国家の祝日になっているから、国家的な大行事といっても差支えないわけで、われわれからみれば、まことに羨ましいことである。

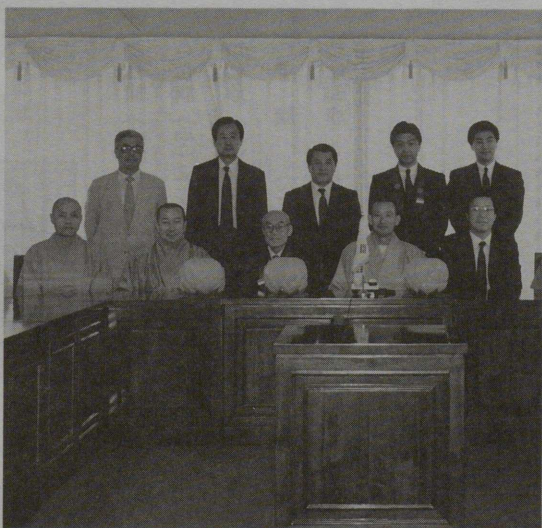
午後八時、法要終了後、李泓波師のご招待で夕食をご馳走になったが、重ね重ねの歓待で、実に恐縮に堪えないことであった。

仏教の日本伝来は、百済の仏教がまず最初



会場にて(右側が白川理事長)

で、その恩義を忘れてはならないと思う。そして、高句麗仏教、新羅仏教とともに、中国大陸の仏教が同じ経路で伝えられたという事実を思えば、われわれはもっと緊密に連繫を保って、仏教の興隆を目指し、世界平和のために寄与する心がまえがなければならない。幸い、日韓仏教文化交流協議会が結成されており、かかる意味合いにおいて、大変有意義な運動を展開しているが、我々としても充分なる支援体勢を構築すべく、努力して行く所存である。



宗団協議会事務局にて

第九回 全仏囲碁大会

八月二十二日、高野山で

第九回全日本仏教会囲碁大会は、左記の通り開催が決まりました。

参加希望の方は、本会国際文化部までお申し込み下さい。

日時 八月二十二日(木)～二十三日(金)
会場 高野山金剛峯寺
参加資格 本会加盟団体所属の僧侶

参加費 一万二千元(宿泊費・懇親会費・記念品代を含む)

競技方法 ①次のクラスを選択する。

A (五段以上)、B (三・四段)、
C (初・二段)、D (一級以下)、
E (五級以下)

②オール互先

問い合わせ 本会国際文化部まで

事務総局人事

財務部次長 神代紹文 5・31 退任
財務部主事 菅野孝江 5・31 退任
財務部次長 上原広明 6・1 新任

事務局長録事

一 六月

三日 本門寺落慶式参列

九日 法律相談室

十六・十九日 韓国花まつり参列

十七日 監査会

局内会議

二十日 ルンビニー委員会

二十一日 同和委員会正副委員長会議

二十二日 日宗連理事会

二十三日 法律相談室

二十七日 局内会議

三十日 理事会(東京)

哀 悼

麻生 恵光(元全仏評議員)

五月七日、七十一歳で遷化

高野山真言宗宗機顧問

仏旗

○仏旗(大) たて 140 cm よこ 210 cm 四五、〇〇〇円
○仏旗(中) たて 90 cm よこ 135 cm 一七、〇〇〇円
○仏旗(小) たて 70 cm よこ 100 cm 一三、〇〇〇円
○手旗 たて 35 cm よこ 50 cm 八、〇〇〇円
○法輪旗 たて 90 cm よこ 135 cm 一〇、〇〇〇円

お申し込みは全日本仏教会財務部

寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 決田商店

東京都台東区寿2-10-9 (地下鉄田原町駅前)

電話 代表 (3841) 4965